

半導体関連水俣連携協定締結式に関する新聞記事  
令和5年11月22日（水）【熊日3面、日経39面】

【熊日】

半導体人材育成へ  
水俣高と企業連携

半導体製造装置などの売買を手がけるアスカインデックス（東京）と水俣高、水俣市は21日、半導体に関連した教育と人材育成、地域振興を目指す連携協定を締結した。熊本県立の高校

が半導体関連企業と協定を結ぶのは初めて。  
アスカインデックスは、クリーンルームを備える体験型研修施設を水俣市に所有。水俣高では本年度から、全学科の生徒がこの施設を利用している。同社との連携によって、半導体関連コースの2025年度設置も目指す。水俣市は、小中高校と連携する半導体関連の学びを支援する。

県防災センターであった協定式でアスカインデックスの田中礼石社長は「TSMC（台湾積体電路製造）



の進出で半導体のニュースが出ない日はない。水俣を人材育成の第一歩とした」と述べた。（東言見）

21日、県防災センター

【日経】

半導体人材育成、水俣市などと協定

クリーンルームの設計や施工、人材育成などを手掛けるアスカインデックス（東京・千代田）は21日、熊本県水俣市や県立水俣高校と半導体人材育成に関する連携協定を結んだ。同社は同校で半導体に関する授業や実習の支援にあたる。水俣高校は半導体に関するコース設置に向けたカリキュラムの編成を進める。水俣市は小中学生らにも半導体のプログラミング教育などをする計画だ。